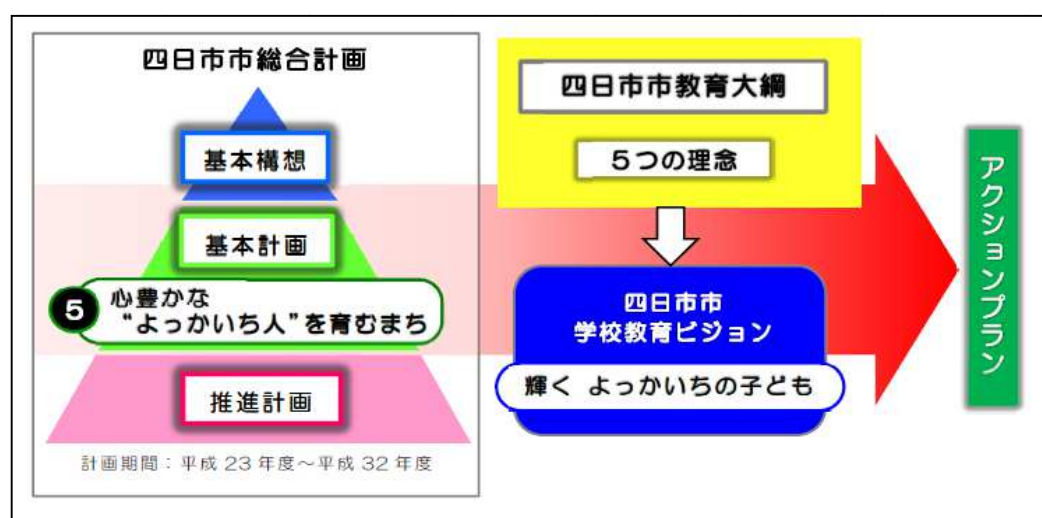


四日市市学力向上アクションプランの総括と今後の展開

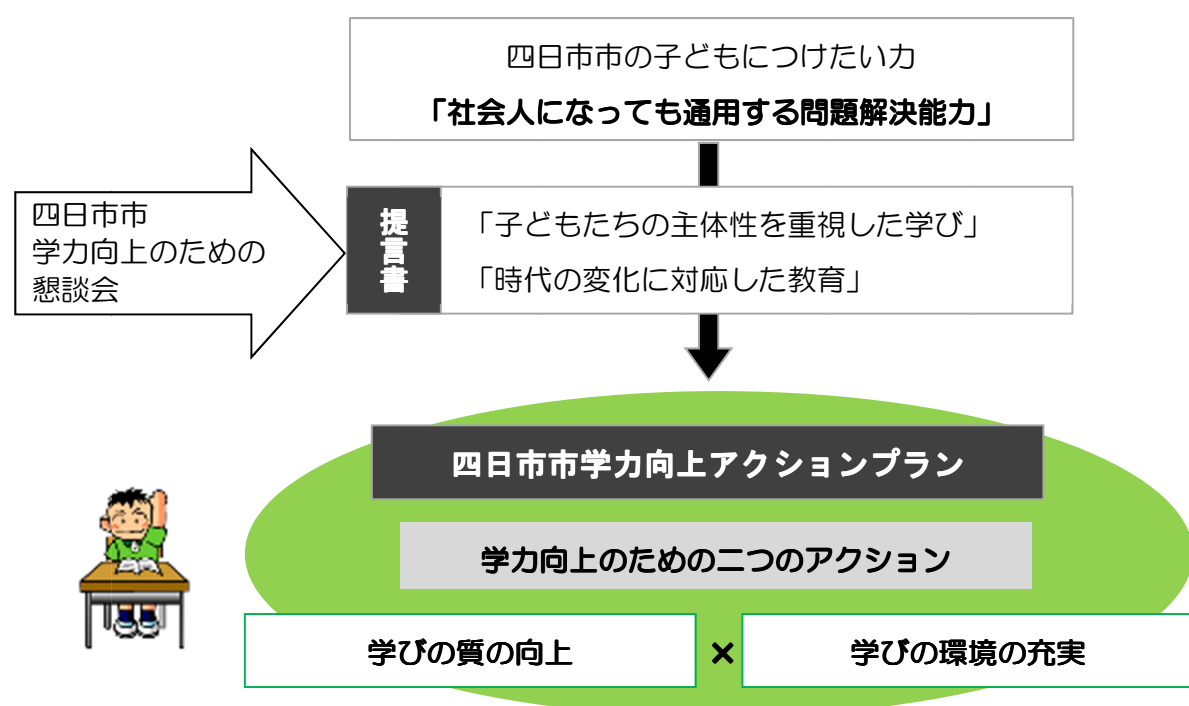
1 取り組みの経緯

四日市市では、平成 27 年度に策定した「四日市市教育大綱」の理念を着実に実現するため、優先的に取り組むべき内容についてアクションプランを策定し、理念がより実効性のあるものとなるようにしている。

その中で、まずは、本市の子どもたちに社会人になっても通用する問題解決能力を育むため、学力向上のための二つのアクション「学びの質の向上」「学びの環境の充実」からなる「四日市市学力向上アクションプラン」を策定し、具体的な 6 つのアクションに基づく取り組みをすすめてきたところである。



2 四日市市学力向上アクションプランの概要



3 総括と今後の展開

○アクション「学びの質の向上」 総括

プランに位置付けた取り組みによって、子どもたちが主体的に学習に向き合う場面が増えたことにより、全国学力・学習状況調査における基礎的学力の数値が上昇している。

今後も、社会人になっても通用する問題解決能力の養成や言語活動の充実など、本プランに位置付けた取り組みをすすめるとともに、本市の強みである算数・数学力のさらなる育成や、プログラミング教育や英語教育の充実、体力の向上など新学習指導要領を見据えた教育課題への対応も必要である。

【今後の展開】

本プランを、今後策定する四日市市新教育プログラム（案）に昇華させ、その内容の充実を図ることにより、引き続き「学びの質の向上」に取り組んでいく。

○アクション「学びの環境の充実」 総括

プランに位置付けた空調設備整備、ICT活用による学びの環境の充実、英語教育環境の充実においては、平成 32 年度供用開始に向けた空調施設整備スケジュールの確定や ICT 機器の導入及び更新、英語教育における人材配置等がある程度すすみ、それぞれ所期の目的を達成しつつあるといえる。

【今後の展開】

本プランについては、所期の目的を達成しつつあることから、アクションプランにおける進捗管理は今回で終了し、推進計画の位置付けの中で着実な取り組みをすすめる。

今後は、整備された学習環境を活用して夏休みの学習支援を行ったり、ICTを活用した効率的な授業により学習の定着を図ったりするなど、学びの質の向上と量の確保を目指す。



4 平成 29 年度の進捗管理（別冊資料 参照）

四日市市学力向上アクションプラン 進捗管理 (平成29年度)

○ アクションプランの計画期間と評価

概ね5年（平成28年度～平成32年度）を計画期間とします。

プランの実施にあたっては、第3次学校教育ビジョンの基本目標1「確かな学力の定着」における成果指標に基づいた評価を行います。これによって、プランがより実効性を発揮し、子どもたちに確かな学力が定着するよう進捗管理を行います。

また、学校施設整備など、教育環境の充実のための具体的な施策の実施にあたっては、本市第3次推進計画（平成29年度～平成32年度）と連携しながら進めていきます。

（四日市市学力向上アクションプランより抜粋）

平成30年7月
四日市市
四日市市教育委員会

1 平成29年度 アクションプランの評価

プランの実施にあたっては、第3次学校教育ビジョンの基本目標1「確かな学力の定着」における成果指標に基づいた評価を行います。

基本目標1 「確かな学力の定着」

指標① 基礎的・基本的な知識及び技能

指標② 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力

指標③ 学ぶことと社会とのつながりを意識しながら主体的に学習に取り組む意欲と態度

基本目標	成果指標		現状値(※)	H29	目標
1. 確かな学力の定着	① 全国学力・学習状況調査結果 (小6…国A、国B、算A、算B) (中3…国A、国B、数A、数B) 全国平均値を100としたときの全科目の市平均値	小	97.4	100.0	102
		中	101.3	102.1	105
	② 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合	小	63.2% (全国66.9%)	67.3 (68.2)	80%
		中	65.6% (全国62.9%)	66.3 (64.8)	80%
	③ 「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合	小	89.5% (全国89.5%)	90.0 (88.5)	95%
		中	79.3% (全国78.4%)	83.0 (77.9)	85%

(※) 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生・中学校3年生対象)

- ① 平成29年度は、全国平均値を100としたときの平均値で、小・中学校ともに100以上となり、前年度よりも向上した。これは、平成25年度1月から、全市的な「学力向上の4つの取り組み」として、各学校において結果分析にもとづく授業改善が図られたことが要因であると考え。今後も全市的な取り組みを継続し、目標値に近づけていく。
- ② 現状では、平成27年度より上昇しているものの、目標値と比べると、小学校・中学校とも下回っている。そこで、今後の学力向上の取り組みの1つとして、「教科の特質を踏まえた言語活動を取り入れた授業の充実」を掲げた。今まで以上に、学級やグループで話し合う活動などを充実させることで、自分の考えを深めたり、意見を広げたりすることを大切にしていくとともに、子どもたちが話し合い活動の有用性を感じるような授業改善を進める。
- ③ 平成27年度より上昇しているものの、目標値と比較すると、小学校は5.0ポイント、中学校は2.0ポイント下回っている。新学習指導要領においては、学習内容の定着とともに、一つの授業での学びを他教科の学習に活用したり、実社会に生きてはたらく力として認識したりすることが大切であるとされる。今後も、日々の学びが教室にとどまることなく、実社会とのつながりを意識できるよう、授業改善を進める。

2 学力向上のための二つのアクション

(1) アクション「学びの質の向上」の総括

プランに位置付けた取り組みによって、子どもたちが主体的に学習に向き合う場面が増えたことにより、全国学力・学習状況調査における基礎的学力の数値が上昇している。

社会人になっても通用する問題解決能力を養成するため、知識・技能を活用して課題を解決する授業となるよう、授業の質的な改善を進めた、思考力や表現力をみがくための言語活動を各校で工夫し実践したりする取り組みにより、子どもが主体的に学習に向き合う場面が増え、学力の向上につながっているといえる。

今後は、社会人になっても通用する問題解決能力の養成や言語活動の充実など、本プランに位置付けた取り組みをすすめるとともに、本市の強みである算数・数学力のさらなる育成や、プログラミング教育や英語教育の充実、体力の向上など新学習指導要領を見据えた教育課題への対応も必要となる。

本プランを、今後策定する新教育プログラム「四日市市新教育プログラム（案）」に昇華させ、その内容の充実を図ることにより、引き続き「学びの質の向上」に取り組んでいく。

【おもな成果と課題】

○リーフレット「教員用 授業づくり ヒント&ポイント」を年間3回発行した

言語活動を通じて言語能力を育成している実践例をまとめ、全教員に配布するとともに、本冊子を活用した研修会が各校で行われ、優れた指導方法の共有による教員の指導力向上を促進した。今後も引き続き、教科等横断的な資質・能力を育成していくために、各教科におけるノート指導や板書指導、教師の発言等、教師の授業スキルの事例を紹介する。

○「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック」を活用した授業改善が進んだ

各校において、校内研修にガイドブックを活用した授業づくりを位置付けるとともに、「問題解決能力向上のための5つのプロセス（四日市モデル）」に基づく指導案により、子どもの主体的、対話的な学習を図る授業改善が進んだ。今後は、子ども一人一人の思考力や表現力を着実に向上させることが課題である。

○「中学生スピーチコンテスト THE BENRON」を開催した

平成 29 年度は2回目の開催となり、コンテストの出場者それぞれが伝える力を駆使し、日頃の言語活動による表現力向上の成果を披露することができた。日常の授業において、本事業が一部の子どものためのではなく、中学生全体の言語能力の向上につながるような取り組みを工夫する学校が増えている。

○博物館や四日市公害と環境未来館と連携し、地域を学ぶ取り組みが進んだ

全小学校の5年生と全中学校の3年生が本施設を訪問した。ワークショップなどの体験的な活動を行うことで、歴史・文化に対する学習効果の向上が図られた。平成 29 年度から「そらんぼ四日市」活用検討委員会を開催し、見学プランの検討・改善も行った。

今後も、本市の地域資源や公害対策モデル都市としての歩みを学習活動に生かし、持続可能な社会のつくり手を育成するための連携を進める。

(2) アクション「学びの環境の充実」の総括

空調施設整備においては、平成 32 年度供用開始に向けたスケジュールが確定し、導入に向けた取り組みがすすんでいる。また、小・中学校のデジタル教材や中学校コンピュータ室の機器の更新など ICT 機器の導入及び更新により、一人一人の子どもの能力を引き出すための環境整備が進んだ。さらに、小学校英語実践推進校 1 2 校に英語専科教員を配置し、新学習指導要領を見据えた指導体制の整備をすすめた。プランに位置付けた学びの環境の充実においては、それぞれが所期の目的を達成しつつあるといえる。

【おもな成果と課題】

○平成 32 年度供用開始に向けた空調設備整備のスケジュールが確定した

猛暑などの気候の変動等に対し、良好な学習環境を確保するための普通教室への空調施設導入可能性調査が終了し、平成 32 年度の供用開始に向けた手続きを進めている。

○教員が授業で ICT を活用している割合が 97%となった

一人一人の子どもの能力を引き出すための ICT の環境整備や活用研修により、授業で ICT を活用する教員の割合は高い水準を保っている。今後は「ICT が学力向上にどのような効果をもたらすか」等について、国の動向や先進自治体の事例もふまえながら、研究を進めるとともに、プログラミング教育など、新たな教育課題に対応する ICT 環境整備も進めていく。

○小学校英語専科教員の配置による効果検証がすすんだ

小学校英語実践推進校 1 2 校に英語専科教員を配置し、新学習指導要領を見据えた指導体制の整備をすすめた。これを受け、平成 30 年度には全小学校で英語専科教員を配置し、指導体制の確立や専科教員の活用の工夫など、時代の変化に対応した教育環境の充実に向けた施策をさらに推進する。

○CAN-DO リストによる授業改善、英検 IBA を実施した

平成 29 年度は、全中学校で「生徒が英語を用いて何ができるようになるか」を示した CAN-DO リストに基づいた授業が実施された。今後も、CAN-DO リストを活用した指導について研修を行い、授業改善につなげていく。

さらに、中学校 3 年生に英検 IBA（日本英語検定協会）を活用した。これにより、中学校 3 年生の英検 3 級レベル及びそれ以上が 58.2%であることが明らかとなった。

【参考資料】 具体的な6つのアクションの進捗

ACTION1 確かな学力定着のための授業改革

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、『問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック2』（四日市モデル）を活用した授業実践事例を作成し、アクティブラーニングを活用した授業改革に取り組みます。

（指導課・教育支援課）

おもな施策	実施内容
全国学力学習状況調査及び到達度検査の結果分析に基づく授業改革	① 全国学力・学習状況調査分析冊子の作成 ② 校内研修会への指導主事の派遣（延べ277回） ③ 学力向上のための研修会の実施（小1回、中1回、参加60名） ④ 成果のあった学校の実効ある取組例紹介（9月校長会） ⑤ 標準学力検査等（NRT）の実施
優れた指導方法の共有による教員の指導力向上	① 『問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック2』を活用した授業改善の推進 ② 『教員用 授業づくり ヒント&ポイント』（6月、1月発行）を全教員に配布 ③ ノート指導・板書活用のための研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・板書の優れた実践を紹介（リーフレット活用） ・若手教員を対象に具体的な指導方法を研修（計10回 参加者662名） ④ 学びの一体化を生かした小中連携した学力向上の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・笹川中学校区公開研究会 高花平小学校6月12日（参加75名） 笹川中学校1月25日（大雪のため休校・中止）

【取り組みの進捗】

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32	目標水準
全国学力・学習状況調査分析冊子作成	冊子作成	冊子作成	冊子作成	冊子作成	冊子作成	全ての小中学校で、全国学力・学習状況調査や到達度検査の結果分析に基づく授業改善が行われている。
指導主事の派遣	延べ267回	延べ250回	延べ250回	延べ250回	延べ250回	
学力向上のための研修会の実施	小学校1回 中学校2回	小学校1回 中学校1回	小学校1回 中学校1回	小学校1回 中学校1回	小学校1回 中学校1回	
到達度検査等の実施	CRT実施	NRT実施	NRT実施	NRT実施	NRT実施	
ガイドブック活用推進協力校の数	5校指定 (のべ5校)	5校指定 (のべ10校)	5校指定 (のべ15校)	5校指定 (のべ20校)	5校指定 (のべ25校)	問題解決能力のための授業づくりガイドブックや優れた指導方法の共有によって、教員の指導力向上が図られている。
「授業づくりヒント&ポイント」の発行	年2回発行	年3回発行	年3回発行	年3回発行	年3回発行	
若手研修会の実施	年10回	年11回	年10回	年10回	年10回	

ACTION2 思考力・判断力・表現力を高める言語活動の充実

論理的思考とコミュニケーションの基盤である言語を使いこなす能力を高めます。

的確に相手に伝わる表現を意識させる取組を進めて、1分間コメントや弁論大会など、表現力を磨く機会を充実させます。

(指導課)

おもな施策	実施内容
授業における言語活動の充実	① 学力向上のための研修会の実施（小1回、中1回、参加60名） ② 道徳公開授業研究会の開催 大池中学校区公開研究会 11/14（参加述べ120名）
言語をつかいこなす場の設定	① 中学生スピーチコンテストTHE BENRONの開催 ・開催 8/19 市内中学生25名参加（公立全22校、私立3校 計25校） ・THE BENRON 発表原稿集の配布 ② 1分間コメントの積極的な実施 ・読書活動推進校の効果的な取り組み発表 2/8（全校担当者参加） ・取り組み事例集配布 ・読書推進校への指導主事派遣・指導助言（対象6校、年2回）

【取り組みの進捗】

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32	目標水準
学力向上のための研修会の実施	小学校1回 中学校2回	小学校1回 中学校1回	小学校1回 中学校1回	小学校1回 中学校1回	小学校1回 中学校1回	全ての小中学校で、思考力を深めるための言語活動を取り入れた授業が行われている。
道徳教育総合支援事業における推進校の指定	1校	1校	1中学校区	1中学校区	1中学校区	
中学生スピーチコンテストの開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	コミュニケーションと論理的思考の基盤である言語を使いこなす場が設定されている。
読書推進校の指定	6校指定	6校指定	6校指定	6校指定	6校指定	

ACTION3 四日市の地域資源の教育への活用

産業、環境、港等、四日市の長である地域資源を教育へ活用する仕組みを構築します。また、キャリア教育の視点を生かした企業等との連携を進めます。

(教育支援課・指導課・博物館)

おもな施策	実施内容
四日市の地域資源活用のための教材等の整備や啓発	① 博物館・プラネタリウムの積極的活用 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史学習（実物展示を利用した学習展開）（のべ40校 2629名） ・中学3年生対象の学習投映の実施（22校 3017名） ・各小学校の実態に合わせた体験的学習投映の実施（のべ25校 1857名） ・小学5年生対象環境番組「アースメッセージ」の投映（28校 2044名） ・中学生への学習参加券の配布（2228名の利用） ② 久留倍官衙遺跡の学習への活用 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季講座として新規採用教員(8/1)・一般教員対象に研修会(7/28)を実施 ③ 小学校3・4年生用副読本『のびゆく四日市』の改訂 ④ 企業との連携による出前授業・社会見学の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・企業出前授業（小14校、中3校）社会見学（小25校）※いずれものべ校数
キャリア教育の視点を生かした企業等との連携	① 地元企業や JAXA（宇宙航空研究開発機構）との連携授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・JAXA 連携授業（平成29年度は小6校、中3校） ※企業との連携授業は、四日市の地域資源活用における実施内容に同じ
公害対策モデル都市としての本市の歩みを教育へ活用	① 公害対策モデル都市としての歩みの教育への活用 <ul style="list-style-type: none"> ・四日市公害と環境未来館を活用した学習の実施（全小5年生、全中3年生） ・全小中学校における四日市版ESDカレンダーの作成 ・教職員向環境教育 ESD 講座の実施 7/27（小）、7/28（中）（各校担当）

【取り組みの進捗】

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32	目標水準
博物館の活用	全小中60校が見学	博学連携研修の充実	見学プログラムの改善	博学連携モデルの教材化	博学連携学習の充実と推進	四日市ならではの地域資源を活用した授業づくりが進んでいる。
久留倍官衙遺跡の学習への活用	活用計画書の作成	活用計画書の発行	教員向け研修会の実施	教員向け研修会の実施	教員向け研修会の実施	
四日市の地域資源を楽しく学べるホームページの開設・活用	資料収集	作成作業	HPの開設及び周知	HPの更新各校で活用	各校で活用	
のびゆく四日市の改訂	年次改訂	年次改訂	年次改訂 大改訂準備	年次改訂 大改訂準備	大改訂版（新学習指導要領準拠）発行	
企業や JAXA の連携授業を1回以上受けた学校（H27 起点）	24校	28校	40校	45校	50校	キャリア教育の視点での授業の推進
四日市公害と環境未来館の活用	全小中60校が見学	全小中60校が見学	全小中60校が見学	全小中60校が見学	全小中60校が見学	公害対策モデル都市としての歩みを授業で活用する

ACTION4 空調設備整備による良好な学習環境の充実

これまでに例をみない程の猛暑等の発生により良好な学習環境が保てないという課題を克服するため、普通教室の空調設備整備を進め、快適な学習環境を整えます。

(教育施設課)

おもな施策	実施内容
普通教室への空調整備による良好な学習環境の充実	①平成28年度「四日市市小中学校空調設備整備調査検討業務委託」、平成29年度「四日市市小中学校普通教室空調設備整備 PFI 導入可能性調査業務委託」を実施 ・空調設備の早期導入、整備の順番の平等性、財務負担の平準化、効率的な維持管理などを検討→最適な整備手法としてPFI（BTO）方式が有利であると判断 ②平成29年度「四日市市小中学校普通教室空調設備整備 PFI 事業アドバイザー業務委託」を開始

【取り組みの進捗】

○ 今後3年間の普通教室空調設備整備工事工程

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32	目標水準
普通教室への空調整備	検査検討	導入可能性調査			供用開始予定	全ての学校の普通教室に空調設備が整備され、快適な学習環境が整う。
		事業者選定				
			設計・施工			

ACTION5 ICT活用による学びの環境の革新

授業で日常的にICTを活用できる環境整備を進めるとともに、デジタル教科書等の導入など、ソフト面の整備を進めます。

(教育支援課)

おもな施策	実施内容
学校のICT環境の革新・整備	① 主体的・対話的な学びを実現するためのICT環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・システムの安定した運用のための運用支援を実施 ・ICT活用研修講座の実施(延べ10回) ・中学校コンピュータ室機器、教室用プロジェクタセット等の更新 ・平成21年度導入電子黒板の入替(8台)
デジタル教科書等ソフトウェア面の整備	① デジタル教科書等のソフトウェア面の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校のデジタル教材の更新 ・小学校の学習用コンピュータにプログラミング教育ソフトウェアをインストール

【取り組みの進捗】

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32	目標水準
ICT活用研修実施	年10回	年10回	年10回	年10回	年10回	すべての小中学校で授業に活用するための電子黒板等のICT環境が整っている。
ICT機器・環境整備	—	電子黒板入替8台	電子黒板入替8台	電子黒板入替8台	電子黒板入替8台	
	—	中学校コンピュータ室等機器更新	タブレット端末導入検討	小学校タブレット端末導入予定	中学校タブレット端末導入予定	
デジタル教科書等導入	中学校英語 中学校数学導入	デジタル教材更新 小プログラミング教育用ソフト導入	—	—	—	デジタル教科書を活用した授業が展開されている。

ACTION6 英語教育環境の充実

グローバル化する社会において求められる人材育成に対応するとともに、学力としての英語、コミュニケーションのツールとしての英語という2つの面から、英語能力強化のための環境を整えます。

(指導課)

おもな施策	実施内容
教室で英語を効果的に学ぶ環境の整備	① 教室で英語を効果的に学ぶための環境整備 ・「CAN-DO リスト」活用研修会（2回実施 各校英語担当1名参加） ② 短時間学習（小学校外国語活動における短時間学習）を実施 （平成29年度実践推進校12校で実施）
異文化理解を図り、国際的視野を広げる機会の提供	① 異文化理解を図り、国際的視野を広げる機会の提供 ・夏休み出前講座「レッツ・エンジョイ・イングリッシュ」の実施（中学校11校） ・修学旅行を活用した英語活動の実践を紹介（小学校教員対象研修会）
英語担当教員の英語指導力向上	① 英語科教員の「英語力向上研修」の実施 ・平成29年度2回実施（前掲 上記「CAN-DO リスト」の活用研修会に含む） ② 英語教育に関する小中連携の取組 ・平成29年度英語推進実践校区（西笹川中学校区）の実践を調査 ③ 小学校教員向け英会話教室「YEF English Lab」の実施（3回） ④ 小学校外国語活動等新教材研修会の実施（1回）

【取り組みの進捗】

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32	目標水準
小学校英語非常勤講師の配置	2校	12校	20校	30校	38校	すべての小中学校において、教室で英語を学ぶ環境の整備がなされている。
英検ⅠBAの実施（中学校3年生）	—	年1回実施	年1回実施	年1回実施	年1回実施	
四日市市英語指導員（YEF）の配置	11人	12人	13人	14人	16人	異文化理解を図り、国際的視野を広げる機会を提供できている。
出前講座「レッツ・エンジョイ・イングリッシュ」の実施	9校	11校	13校	15校	18校以上	